

平成 20 年度 第 5 回理事会抄録

日 時：平成 20 年 11 月 29 日(土) 14:30～17:50

場 所：道士会事務局

出 席：藤田龍一(会長)、清水兼悦(副会長)

伊藤隆 佐藤裕一 仙石泰仁 藤坂広幸 水上伸子 山田毅(理事) 坂上哲可(事務局長) 松田卓子 佐々木努(書記)

小形和浩(総務) 久保進也(調査) 境信哉(学術) 木下浩也(教育) 小笠原和彦(広報部広報)

竹内大人(広報部企画) 伊藤玲(保険) 浅野葉子(学会実行委員長)

欠 席：村田和香(副会長) 池田望 柿崎貴浩 菊地啓介 吉岡英章(理事)

【検討事項】

1. 学術関係(学術部)

1) 学術奨励賞の選考方法について

現在、奨励賞は学会発表演題の中から第 1 次抄録審査および第 2 次実地審査を経て選考される。演題数も増え、効率的なシステムを構築したい。

意見：演題査読と奨励賞はまったく異なる体質の物であり、選定基準や選定方法についての明確な基準が必要なのではないだろうか？ →内規は存在するので、次回の理事会に提出し理事会の判断を仰ぎたい。 → 継続

2) アンケート調査について

現在の OT の実態を明らかにするためのアンケートを作成している。士会員全員を対象に行い、複数回に分けてその都度対策を考えていきたい。

意見：この質問項目で何を知りたいのか不明確。→目的・趣旨を明確に伝える必要がある。

意見：匿名性に関しては、今回の項目については特に必要ないのではないか。郵送方法や回収方法については、職場単位でアンケート可能であれば、FAX やメールでも可能と思われる。→HP の利用も視野に入れる必要があり今後の検討とする。 → 継続

2. 企画調整委員会より下記課題について

1) 地域・支部の体制見直しについて

会員数増加に伴う、支部に対する士会のバックアップ体制を強化する必要がある。

提案①：支部内で行うこと、支部間で行うこと、士会が行うことを明確化したい。

提案②：支部連絡協議会と士会の役割の明確化、連携強化のために、各支部から理事を積極的に選出してはどうか？→今後会員数の増加もあるので、理事の数や理事会のあり方についても検討が必要。

提案③：士会と支部の効率的情報共有を図るための連携モデルを構築したい。→教育部を連携モデルとし活用してはどうか？ → 継続

2) 部局のあり方について

会員数の増加に伴い、一昨年前に広報部、昨年度学術部を見直したように、その他の部局のあり方も見直す必要がある。

提案

事業部を事業企画課と事業推進課に分ける。教育部は生涯教育プログラムや研修会などの企画を主たる業務とし、実行は事業推進課に回す。広報部に関しては、広報企画課は事業企画課と役割分担、広報部広報は従来どおりニュースなど担当。福利部は特に潜在 OT へ対応する体制強化。学術部は、10 ヶ年プロジェクトに関連する事項へ予算も組み込むよう検討願います。保険部は、従来どおり。調査部は、職場の状況に関わる調査。総務部・財務部は、事務局移転に伴いあり方を早急に検討する必要がある。渉外部は、三役だけではなく、担当部員が必要である。 → 継続

3) その他の事項について

提案：臨床 OT のご意見審的委員会の設置、WEB 会議導入検討、弁護士など外部委員の取り込み、議事録の徹底を行う必要があるのではないか？ → 継続

3. 各部局の派遣部員のあり方について(支部)

各支部に各部局のサテライト部員がおり、彼らが部局・部長との連携を取って活動している。何かしらのルールを決める必要性がある。

意見：実際のところサテライト部員は存在するが、機能していない支部もある。また、部局によって連携効率に差がある。→当面、慣れるまでは支部長と担当者に連絡を取って、各支部に任せる形で進める。いず

[テキストを入力してください]

[テキストを入力してください]

れにせよ、コミュニケーションを密にする必要性、統一したシステムを士会として構築する必要性がある。 → **継続**

【各部局報告】

<三役会> 11/27(木) 18:30～

- ・第5回理事会議案について

<総務部>

- ・(社)北海道精神障害者家族連合会「第11回精神障害者リハビリテーション推進北海道フォーラム(11/13)」名義後援依頼(10/2);承諾
- ・第11回さっぽろ・こころの健康まつり実行委員会「第11回さっぽろ・こころの健康まつり(11/11)」名義後援依頼(10/9);承諾
- ・苫小牧リハビリテーション研究会「第38回苫小牧リハビリテーション研究会 講演会(12/11)」後援依頼(10/31);承諾
- ・(社)北海道医師会「平成20年度北海道医師会医政講演会(12/6)」案内依頼(11/4);HP掲載
- ・NPO法人アスペ・エルデの会「成人期の高機能広汎性発達障害者のサポート・ネットワーク作り事業(12/7)」案内依頼(11/5);HP掲載
- ・札幌市地域リハビリテーション推進協議会「札幌市地域リハビリテーション全体研修会(12/9)」案内(11/12);HP掲載
- ・NPO法人北海道保険医会「2008医療フォーラム(11/22)」開催案内(11/13);HP掲載
- ・医療法人社団北斗 北斗病院「平成21年度成人ボバースアプローチ認定講習会」後援依頼及び広報依頼(11/25);承諾、HP掲載

[出版物・報告関係]

- ・(社)長野県作業療法士会「長野県作業療法士会学術誌 VOL26」(10/2)
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会「名簿」(10/17)
- ・(社)北海道理学療法士会「第59回北海道理学療法士学術大会 プログラム・抄録集」(10/20)
- ・(社)北海道精神障害者家族連合会「平成20年度北海道・東北ブロック家族会 精神保健福祉促進研修会 プログラム」(10/24)
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会(税理士法人札幌経営センター)「新公益法人制度のガイドライン、新公益法人勉強会質問に対する回答書」(11/17)
- ・北海道臨床心理士会「北海道臨床心理士15周年記念誌」(11/21)

<渉外部>

- ・(社)日本理学療法士協会「第43回日本理学療法士協会全国学術研修大会 in 北海道(10/10)」開会式・レセプション;会長出席
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会「新公益法人(公益法人制度改革)に関する勉強会(10/17)」開催案内(10/1);坂上事務局長出席
- ・国土交通省・北海道「法人土地基本調査及び法人建物調査」協力依頼(10/2);回答
- ・北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会「北海道福祉のまちづくり推進連絡協議会(10/22)」開催案内(10/2);坂上事務局長出席
- ・(社)北海道理学療法士会「(社)北海道理学療法士会創立40周年記念行事(11/15)」案内(10/9);会長出席
- ・(株)北海道医療新聞社「週刊北海道医療新聞新春特集号<新春年賀広告>」掲載案内(10/14);掲載申込済
- ・(社)日本作業療法士協会「都道府県作業療法士会 倫理担当窓口の確認」(10/16);変更なしで連絡済
- ・弘前医療福祉大学「弘前医療福祉大学落成記念シンポジウム(12/6)」案内(11/5);欠席
- ・(社)札幌聴覚障害者協会「聴覚障がい者社会生活教室(12/11)」の講師依頼(11/20);千田素子 OTR 派遣予定
- ・(社)日本作業療法士協会「士会広報担当者用掲示板新設のお知らせと協会広報部担当士会広報部員の募集について」(11/21)
- ・(社)北海道柔道整復師会「新年交礼会(1/10)」ご案内(11/21);12/15締切
- ・(株)北海道医療新聞社「週刊介護新聞新春特集号(年賀広告)」掲載案内(11/25);掲載申込予定
- ・(社)北海道医師会「第25回北海道医療・福祉関係職能団体等懇談会(1/16)予告及び懇談会のテーマ募集について」案内(11/25);会長出席
- ・北海道保健福祉部福祉局福祉援護課「平成20年度高齢者・障害者住宅改善支援地域ネットワーク事業に係わる福祉住環境整備関連職種連携研修(住宅改善ワークショップ等)の開催要望の照会」(11/25);12/1締切

[事業]

- ・新年交礼会案内発送準備：12月上旬発送予定

<財務部>

- ・新会計ソフトの導入(11/21)
- ・補正予算作成のため各部局・支部へ中間決算のアナウンス；12月中旬までに提出
- ・決算書、予算書の作成について
 - 1月中旬 予算計画提出 1月24日理事会にて審議
 - 2月上旬 決算報告提出 2月28日理事会にて審議

<調査部>

- ・会員数；1,856名 入会員者25名(内再入会者2名) 退会者1名(9/25～11/27)
- ・新規事業に際し、広報企画課、学術部、保険部と調整中

<学術部>

学術奨励賞3名決定。来年度総会時に発表予定。

[編集委員会]

- ・北海道作業療法第25巻第1号発刊：10月 この号より新企画・「研究Q&A」を掲載
- ・北海道作業療法第25巻第2号発刊予定：12月末
- ・北海道作業療法第25巻第3号：新企画である「シリーズ物依頼原稿」を掲載する予定
- ・北海道作業療法第26巻第1号：新企画・教育部主催研修会内容を掲載する予定。現職者研修の内容については各領域の研修会より数名の講師に執筆を依頼する予定

[第一学術課]

- ・年度内でアンケート調査を実施予定

[第二学術課]

- ・倫理委員会設立について：2月に会議予定。

<教育部>

- ・プログラム参加人数が回を重ねるごとに目減りしている。研修会は2月中に全部終了する予定。

<広報部>

[広報課]

- ・士会ニュース12月号発刊準備

[企画課]

- ・いきいきフェアに用リーフレットを作成
- ・患者属性別OTに関する研修会(仮称)開催準備
内容：①講演として介護保険関連トピックス②討論は急性医療OT、回復期OT、維持・療養OT、地域OTの各4カテゴリーのパネリストを立て各カテゴリーに指定発言者を用意し、補足・問題提起を行う。

参加費：500円

期日：2009/1/24(土) 14:00～16:00

予算：事業部との協業にて折半

<福利部>

- ・新年交礼会：1月24日(土) 17:30～19:00 グランドホテル 3F玉葉にて開催予定
- ・座談会モデル事業について十勝支部と協力体制を整え検討中

<事業部>

- ・札幌駅OT啓発事業におけるアンケート集計中：HPにて公開予定

<保険部>

- ・年度末の介護報酬改定に向けて情報収集中
- ・平成21年度介護保険改定に向けた情報(資料は厚生労働省より)は大きく以下の3点。①通所リハ～医療機関の外来リハでのように、短時間かつリハに特化したものを設定してはどうか②訪問リハ～回数制限がなくなった、管理者の要件が変わってきた③短期入所～リハ合宿みたいなものの検討

<学会評議委員会>

- ・千歳学会アンケート集約結果

<企画調整委員会>

- ・検討事項参照

<白書委員会>

アンケート回収率は施設 40%、個人 34%、現在分析中

<支部連絡協議会>

- ・支部連協議会会議報告

補正予算を札幌支部が 20 万(いきいき福祉フェア)、空知支部が 5 万(支部研修会)要求しているので支部連絡協議会で調整し、理事会へ報告

<第 39 回北海道作業療法学会>

- ・参加者数は合計約 850 名(会員 671 名、非会員 48 名、学生一般その他 95 名)
- ・決算は、学会として 100 万円の余剰金となった。
- ・後援依頼について、北海道では、札幌市は道に依頼し、それ以外の市区町村はその保健所に出す。後援依頼も関係職種すべてに送るべき。学会引継ぎ時に徹底する必要がある。
- ・演題発表と SIG の時間枠が重なったため、発表を優先して欲しいという意見があった。
- ・今後、口述は 100~200 名収容できる会場が複数必要だろう。
- ・学会評議委員からは殆どの事項を学会実行委員に一任され、判断に困ることが多々あった。

次回理事会

日時：1 月 24 日(土)

場所：道士会事務局
